

2021年9月2日

SUBARU「フォレスター ウィルダネス」を米国で発表

～SUBARU SUV の個性をさらに際立たせた Wilderness シリーズの第二弾～

- ひと目で高い機能性を予感させる、専用の内外装デザイン
- 9.2 インチの最低地上高と専用サスペンションやオールテレーンタイヤなどの組み合わせにより、走破性を強化
- アウトドアフィールドでの実用性を高める充実した装備

SUBARU は、北米専用車「Forester Wilderness(フォレスター ウィルダネス)」を現地時間 2021 年 9 月 2 日に米国で発表しました。



フォレスター ウィルダネス(米国仕様車)

「フォレスター ウィルダネス」は、2021 年 3 月に発表した「アウトバック ウィルダネス」(北米専用車)に続く、ウィルダネスシリーズ第二弾となるモデルです。安心感や走りの愉しさといった、「フォレスター」が従来から提供し続ける価値はそのままに、タフでラギッドなキャラクターに磨きかけたデザインと、走破性や機能性の強化により、個性をさらに際立たせました。

「フォレスター ウィルダネス」の特徴の一つは、機能性の高さとそれを表現したデザインです。ボディ全周に渡って装着したブラックカラーのプロテクションパーツは、立体的な造形でたくましさ表現するとともに、車体を保護する役割も兼ね備えています。また、標準モデルに対して幅を約 20 mm 拡大したルーフレールは、最大積載量を増やすとともに、片側 3 か所のレッグ部分にそれぞれローブ穴を設け機能性を強化。このレッグ部分には、アナダイズドイエローのアクセントカラーを配置しました。内装も同色をアクセントに、ブラックとグレーのダークトーンで全体をコーディネート。撥水性のある表皮を使用したシートなども採用し、アウトドアでも気兼ねなく使える機能性を備えています。

パワーユニットは、2.5L 水平対向 4 気筒直噴エンジンを採用。レシオカバレッジを拡大し、ファイナルギヤ比をローギヤ化したリニアトニック*1 を組み合わせることで、駆動力を高めました。また、空冷オイルクーラーを追加することで、標準モデルの 2 倍に当たる 3,000lbs(約 1,360 kg)の牽引能力を実現しています。足回りには、不安定な路面でも高いグリップ力を発揮するオールテレーンタイヤを装着。さらに、サスペンションに専用コイルスプリングを採用することで、最低地上高を 9.2 インチ(約 233mm)まで拡大し、悪路走行時の安心感を高めました。また、サスペンションセッティングによりコーナリング時のロール角を抑制。オンロードでの軽快でスポーティな走りも両立しています。

SUBARU は 2018 年発表の中期経営ビジョン「STEP」の中で、SUV ラインアップの強化を掲げました。「フォレスター ウィルダネス」もこの SUV ラインアップ強化を具現化したモデルの一つです。

今後も、主力である SUV モデルを SUBARU らしく進化させ、お客様に「安心と愉しさ」を提供します。

*1: フル電子制御自動無段変速機(CVT)